

✿小豆島町 こまめ事業 ✿

～支え愛のある地域づくりを目指して～

幸せに年齢(歳)を重ねる人の事です

いくつになっても誰もが自分らしく笑顔で生活を送る事ができ、
幸齢者となれるように、皆の支え愛の輪を広げていくための事業です。

《生活の困りごと》

- ★足腰が弱ってきて、ゴミ出しを自分するのが難しい、、、
- ★スーパーが遠くて自分で買い物に行けない、、、
- ★一人暮らしで不安、、、寂しい、、、



《支え愛の輪》

- ★元気な高齢者等の社会参加
- ★介護予防支援ボランティア、NPO、シルバー人材センター等との連携
- ★若い世代の関心や協力
- ★趣味の集まりやたまり場、地区サロン



高齢者の《生活の困りごと》を把握し、《支え愛の輪》を広げます。

双方をマッチングさせ、支え上手♥支えられ上手を増やします



この事業を推進していくため、“生活支援コーディネーター(地域支え愛推進員)”や“協議体”が設置されています。

支え上手♥支えられ上手を増やすために小豆島町 こまめ事業では3本の柱を中心に事業展開していきます。

つながりづくり

★こまめリーダー会議の開催

各地区サロンのリーダーの定期集会を開催し、情報交換や意見交換を行う。

★こまめ会議の開催

各地区にて、住民同士が気軽に地区の事等を話し合える会を開催する。

★こまめチェックの実施

チェックリスト等を用いて実態把握を行い、引きこもりや認知症の早期発見、元気高齢者の発掘等につなげる。

人づくり

★こまめ隊の養成

こまめ隊養成塾を開催し、地域で支え愛活動に取り組むボランティアを増やす。

養成塾では、認知症の内容を中心に高齢者への理解・接し方を学ぶ。

★こまめ授業の開催

オリーブ健康塾(介護予防支援ボランティア養成)や地区サロン等で支え愛活動についての講義を行う。

居場所づくり

★こまめサロンの応援

各地区で実施しているサロン活動等が継続・活性化していけるように支援していく。また、新しいサロンの立ち上げも支援していく。

★こまめカフェ(認知症カフェ)の協力

認知症の方やその家族、地域住民、認知症について相談がある方等、子どもから大人まで誰もが集える“認知症カフェ”の運営に協力する。

～3原則～

- ①こまめな声掛け
- ②こまめな見守り
- ③こまめな連携

PRキャラクター
こまめ
ちゃん



こまめちゃんポイント

- ★オレンジのリボンは温かみをイメージ
- ★大きな口は元気に声掛けや挨拶ができるため
- ★大きな目は広く見守りができるため
- ★大きく広げた手は皆で手を取り合い連携をとれるため

小豆(あずき)からできた女の子。

実はとても恥ずかしがり屋で一人ではなかなか行動できないタイプの女の子です。こまめちゃんの応援隊としても皆さんの協力が必要です！よろしくお願いします♡